

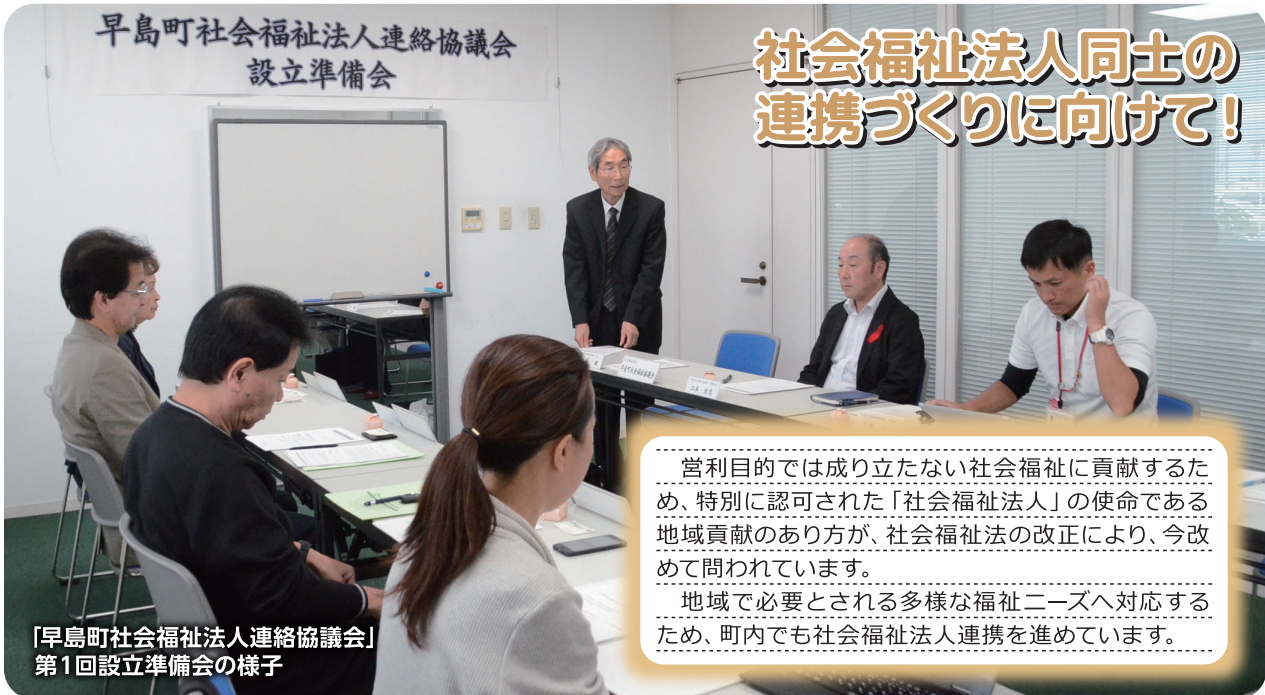
CONTENTS

- 23 新年のごあいさつ・ふれあいいきいきサロン研修会
矢掛町三谷地区社会福祉協議会視察受入
いきいきサポーター養成講座
住民福祉活動先進地視察研修・福祉映画会
- 45 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記
デイサービスセンター通信
- 6 我が家のびち自慢・投稿記事
- 7 みんなで進めよう!「はやしまほっとプラン」・寄附
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

社協だより

はやしま福祉情報

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります



社会福祉法人同士の連携づくりに向けて!

営利目的では成り立たない社会福祉に貢献するため、特別に認可された「社会福祉法人」の使命である地域貢献のあり方が、社会福祉法の改正により、今改めて問われています。

地域で必要とされる多様な福祉ニーズへ対応するため、町内でも社会福祉法人連携を進めています。

「早島町社会福祉法人連絡協議会」第1回設立準備会の様子



自然体での活動を大切に!

朝の日常の風景。地域住民の皆さんや近隣企業の皆さんが、誰に頼まれることなく、子供達の登下校の見守りをされています。福祉もボランティアも特別なことなく、「地域や人の為になにかできないか」という自発的な自然な気持ちの現れかもしれません。今年も町内各地でそんな光景がたくさん観られる1年でありますように。

新年のごあいさつ



社会福祉法人
早島町社会福祉協議会
会長 長 健

私の考える福祉

新年明けましておめでとうございます。平成31年度は「はやしまほっとプラン」の最後の年度を迎えます。計画実現に向けて今までの、活動の進捗状況の確認と反省点を洗い出し、できることはすぐに手を打つ等の対応を考えているところです。

先日ある老人ホームの施設長さんと会話した際に、福祉の在り様が変わってきており、以前は比較的自由な発想が認められていたものが、規制の中に押し込まれ、それも年々指示に変化してきていると感じています。

今、社協では「暮らしの応援団」という様々な制度を利用できない、利用しにくい方たちの生活の中でのちよっとした困りごとをお手伝いする取り組みをしています。早島町も高齢化が進んでおり、5年先、10年先を考えているのは、この福祉の原点があると考えているからです。

お互い様！ ほっとけない！



平成三十一年
社協だより年頭挨拶
早島町長
中川 貞寿男

平成三十一年の新春を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年は、大変な豪雨が西日本を襲い、岡山県にも甚大な被害、爪あとが残りました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、少子高齢化の進展や社会情勢の変動に伴い、核家族化や地域のコミュニティが希薄になりつつありますが、早島町では、「住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるまちづくり」の実現を目指しています。高齢者を一人ぼっちにさせない取り組みとして、地域の集会所などを利用して交流できる「たまり場」づくりを地域全体で取り組んでいただいているところです。

今後、誰もが豊かさと幸福を実感でき、安心して暮らせるまち早島を創造していかなければなりません。早島町社会福祉協議会におかれましては、今まで培われてきた地域との絆を大切に、引き続き魅力あるまちづくりの実現に向けご協力賜りますようお願い申し上げます。

ふれあいさいきサロン研修会

実施日時 10月29日(月)
実施場所 オアシス早島

町内で活動するサロン関係者30名が参加。今回は、サロン活動による多世代交流を目指し、子供や子育て世代との関わりをテーマに実施。塩津地区の世代間交流やサロン活動内容の発表と、瀬戸内市の水田主任児童委員さんから子育てサロンの紹介がありました。

意見交換会では、サロン活動が自治会町内会としっかりタイアップすることで、多くの世代の参加を促すことができ、より多くの方の参加の呼びかけをしていこうと締めくくられました。今後のサロンへの若年層の参加が期待されます。



矢掛町三谷地区社会福祉協議会視察受入

実施日時 10月30日(火)
実施場所 オアシス早島

同地区の役員さん等28名の皆さんが来所。三谷地区は、人口が1,970人716世帯で構成され、高齢化が進む(36.8%)一方で、住民主体での地区社協活動(小学生や高齢者の見守り活動・独居や高齢者世帯への配食活動、救急医療情報キットの配布・各種行事の開催・サロン活動16箇所)は活発です。

本町からは、福祉活動員制度やサロン活動の他、動き始めた住民主体の生活支援活動を中心に情報提供をし、参加いただいた本町の福祉活動員協議会の役員さんと意見交換をしました。今後も矢掛町三谷地区の福祉活動が益々活発化することを願っています。



いきいきサポーター養成講座

実施日時 11月2日(金)～28日(水)

実施場所 オアシス早島

町内で介護予防活動を行う人材養成を目的とした3回講座には8名の方が参加。町内の高齢者の状況や介護保険制度、高齢者の疾病特性等の学習や、講座終了後の活動を想定した100歳体操体験とデイサービス見学を行いました。

また、サポーターの役割や町内の福祉活動の状況も学ばれ、受講生の皆さんの受講動機は様々ですが、アンケート結果からは、サポーターや生活支援活動への参画や関心が高まった様子がうかがえました。



住民福祉活動先進地視察研修

実施日時 11月26日(月)

実施場所 真庭市久世公民館

「はやしまほっとプラン」策定や推進の一環で5年目を迎えた、福祉活動関係者合同の視察研修会には過去最高の69名が参加。真庭市社会福祉協議会と市内米来地区社会福祉協議会の取組みを学びました。

面積は早島町の100倍以上で岡山県全体の面積の約11.6%を占める同市では、人口減少と高齢化が著しく進み、市社協は34の地区社協を基盤に福祉活動を展開。地区社協や独居高齢者アンケートから見守り活動や生活支援の充実が課題とされ、市全域で『地域助け合い事業』を実施しています。



この事業は、地区社協による高齢者等の見守り訪問を月1回行い、助け合いマップを作成。マップへは見守りや手助けの必要性、地域との関係性等をそれぞれに着色し可視化。手助けが必要な方へは、各地区社協内で協力会員を募り、ゴミ出しや買い物代行、同行、注文の手伝い、布団干し等のサービスを15分150円で提供するものです。

参加者への事後アンケートからは、「広大な地域でも高齢者の状況を細かく把握し可視化している」「真庭の皆さんの活動に元気をいただいた」「救急医療情キットは良い取り組み」「福祉の必要性を実感。町内でも頑張りたい。」等の記入があり、今後の活動へ前向きな意欲がうかがえました。

	真庭市	早島町
人口	45,839人	12,484人
人口密度	55.3人/km ²	1638.3人/km ²
高齢化率	37.4%	27.8%
福祉活動員数	859人	83人

福祉映画会 ～人にやさしい町を目指して～

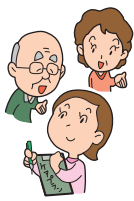
実施日時 12月1日(土)

実施場所 ゆるびの舎

今回は、認知症介護をテーマとした映画『ペコロスの母に会いに行く』を上映し、432名が来場されました。

認知症の方は今後増加が予測されており、認知症への理解や協力がますます重要となってきます。上映後のアンケート結果では、「明日はわが身かと思えさせられました」や「同居していた義母の10年にわたる認知症との日々を重ねて見ていました」といった感想があり、認知症や介護について考えていただく良い機会となったことがうかがえます。





ケアマネジャーの

よりそい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方の自立支援を目的に、在宅生活の継続を目標として支援させていただいています。

今年度は「出張！寄り添い談話室」と題し、様々な地域活動の場に出向き、その場で寄せられた質問にお答えする取り組みを記事にいたします。

第27回

「訪問入浴ってどんな仕組み？」

今回は、金田地区で開催している「金田いきいきサロンにじ」にお邪魔しました。『知っておきたい介護保険の使い方』と題して、制度の仕組みとサービスの種類について、ご説明しました。

その中で、「訪問入浴って実際どんな風に行うの？」と、ご質問を受けましたので、訪問入浴の仕組みについてご紹介します。



「金田いきいきサロンにじ」のご様子



西コミュニティハウスにて
毎月第1水曜日に開催中

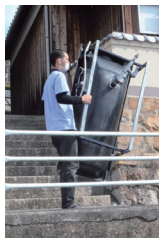
わきあいあいと
楽しいですよ



ケアマネジャーのひと言アドバイス

お部屋がたちまちお風呂に早変わり！ 訪問入浴はそんな仕組みです。

- 看護スタッフなどが3名で訪問。入浴前後に健康状態を確認します。
- 防水マット、組立式の専用入浴槽を搬入（2～3畳あれば設置可能）。
- 寝たままの姿勢でも、安全に湯船に浸かることができます。



お風呂上りに一言😊

最高～♥

ご自宅前が急な階段でも、給湯設備が離れていても大丈夫！

訪問入浴以外にも、在宅生活を支えるサービスはたくさんあります。

日々の生活を少しでも負担なく、穏やかな気持ちで過ごせる様に、お手伝いさせていただきます。

次回はブロンズクラブさんの集まりに参加させて頂く予定です。



- 介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

日帰りバス旅行 ～ 閑谷学校・備前海の駅～

10月に和気・日生方面へ出かけました。閑谷学校では旧校舎の建物や櫛の木などを見て、「懐かしいなあ」「もう少しきれいな紅葉になりそう」と会話を弾ませながら園内を散策しました。その後はホテルで食事をとり、備前海の駅で海産物などのお土産を買いました。天候にも恵まれ、利用者の皆さんも晴れやかな笑顔の1日でした。



旅行なんて何年ぶりかしら



外での食事は格別です



こんな大きな毘布初めて見たわ



今年は総勢61名の方が参加されました。ご家族やボランティアの方々にも協力していただき、思い出深い旅行になりました。ありがとうございました。



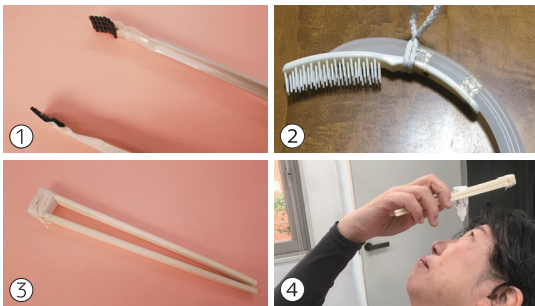
ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルパーステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2018-12-6 | ~手作りの福祉用具~

だんだんと筋力低下していき、身体が思うように動かなくなっても「工夫して出来ることは自分でしたい、趣味の洋裁も続けたい」と諦めない強い気持ちで生活をされている利用者Aさん。家の中には手先の器用なご主人がご本人と一緒に試行錯誤して作られた様々な補助具が満載です。今回は皆さんにその一部を紹介したいと思います。

右側の写真はミシン台にアイロン台を収納し、裁断やアイロン掛けがとてもしやすいように工夫されています。他にも市販の火箸の先に



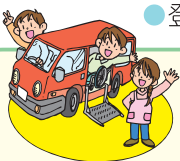
滑り止めを貼り、物をつかみやすくしてあったり(左写真①)、つぼ押しマッサージを改良し、ひとりで髪をとけるようにしてあったり(左写真②)。驚いたのは、割り箸の間に消しゴムを挟み紐で縛った目薬補助具です(写真③④)。既成の福祉用具もたくさんある中で、身近な物を使いやすいよう工夫して自立した生活を送られていることに感心しきりです。ここに紹介したアイデア商品の作り方が知りたい方はお知らせ下さい。

ヘルパー研修録

12月6日(木)に、リスクマネジメントの研修に参加しました。利用者の皆様にできるだけ不快な思いや不満を抱かせる事のないような援助を改めて見直すことができました。



●登録ヘルパーに関するお問合せは、早島町ホームヘルパーステーション (☎086-482-3518) まで



デイサービスセンター 通信

風車&干し柿作り ~懐かしい思い出~

真磯地区の信山さんからいただいた竹の骨組みを使って風車を作りました。「どんな柄にしようかな?」「なかなか難しいなあ」と四苦八苦しながらも完成!フツと息を吹きかけ、クルクル回る様子を見て、子供の頃遊んだ事を思い出されていました。デイサービスでは他にも干し柿作りなど季節に応じたプログラムをしています。



どっちも可愛いなあ



今年も上手くできますように



きれいにむけたよ!

大好きな仲間



投稿者
難波 美月さん(若宮)
難波 奏多さん(若宮)
写真
HKアカデミーの
皆さん

みんなと出会えて
本当に良かった

減塩料理に挑戦



投稿者
佐藤 寛子さん(前潟) 写真
早島つばさの会の皆さん

学生さんのサポートもあり
美味しくできました♪

お兄ちゃんになりました



仲よし兄妹

投稿者
敷田 尚彦さん(舟本)
写真
左から
敷田 順子さん(舟本)
結子ちゃん(舟本)
宗汰朗くん(舟本)

「明るく・楽しく・豪快に」
私たちのモットーです!

小学生から70代までの 親子三世代グループ



投稿者
野田 久美子さん(塩津)
写真
早島イ草太鼓の
皆さん

ぶち自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん..)との写真
- 大切な仲間との写真
- 自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー..)の写真
- 力作(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜..)と一緒に写真
- 手芸や絵などの創作品と一緒に写真など..

皆でタスキ繫いで
6時間走りました!



〈お問合せ・お申込み先〉
早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

小池菓子舗 四代目
小池 秀和



小池菓子舗 四代目
小池 秀和
きたいと思います。

店舗で和菓子の製造・販売を行う傍ら、和菓子業界の将来を見据えて、和菓子の普及や子どもにアコガれる職業となれるよう講師活動やイベントへの参加を行っています。また、今年は、講師をしている高校の教え子が『全国和菓子甲子園』で全国制覇するという嬉しい出来事もありました。今後和菓子の普及や発展につながる活動を行ってきたいと思っています。

おたより



創業一〇〇有余年の早島の和菓子屋四代目として和菓子の新しい可能性を日々模索し、今に至っています。農家から仕入れる農作物で作る和菓子が好評をいただいています。また、高校や専門学校で講師も勤め後継者育成も行っています。

早島町社会福祉協議会から「共同募金で新たな取り組みがあり協力をお願いできないか。」というお話がありました。地域の活性化と地域福祉への協力ができればという思いや、対象商品の売上の一部を共同募金に寄付する取り組みということで、事業者・購入者は普段の購買活動が、福祉活動の財源となる共同募金への協力となり、早島町をよりよくすることにつながると思い、参加することにしました。

『和菓子で広げよう思いやりプロジェクト』として、早島町のPRを含めて早島銘菓、彩り4種類を『早島菓子詰合せ』として赤い羽根オリジナルパッケージとさせていただきます。

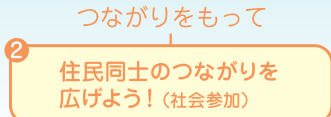
店舗で和菓子の製造・販売を行う傍ら、和菓子業界の将来を見据えて、和菓子の普及や子どもにアコガれる職業となれるよう講師活動やイベントへの参加を行っています。



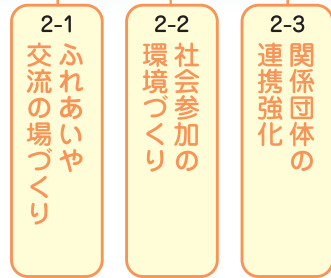
今回は、「基本目標2」の内容と進捗状況をご報告します。「基本目標2」では、地域の中で住民同士がお互いに知っている、“顔見知り”の関係を構築します。また、誰もが自分らしく社会参加ができるよう、多様な主体による支援体制づくりを進めます。

基本目標2「住民同士のつながりを広げよう！」のコンセプト

○基本目標

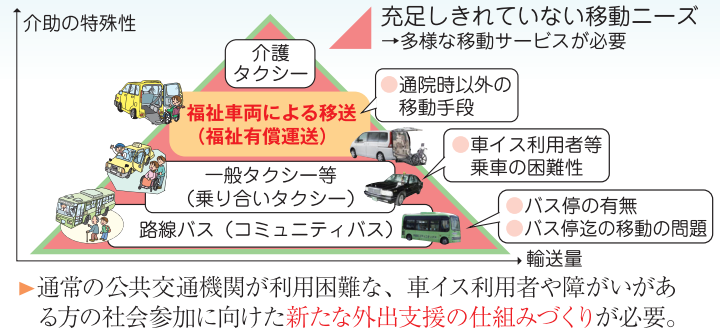


○活動目標



Pick up

福祉有償運送の検討



活動目標ごとに進んだこと (平成27年度以降) ※主要項目の抜粋

2-1 ふれあいや交流の場づくり

- ▶ 町内福祉活動の紹介動画の制作 (H27年度)
 - サロンや福祉活動のPR (可視化)
- ▶ サロン未設置地区の活動立上げの支援 (H27年度～)
 - 7地区7箇所新設



2-2 社会参加の環境づくり

- ▶ 外出支援活動検討会の開催 (H27年度～)
- ▶ 福祉車両を使った移動サービスの試行 (平成27年度)
- ▶ サロン送迎活動の試行 (平成27年度～)
- ▶ 福祉有償運送事業の実施 (平成28年度～)
 - 住民登録運転手・運転ボランティアによる移動支援の住民参画化



2-3 関係団体の連携強化

- ▶ 障がい福祉関係団体連絡会への参画 (H28年度～)
- ▶ 町内社会福祉法人連絡協議会準備会立上げ (H30年度～)
 - 法人連携による地域貢献活動のあり方検討
- ▶ サロンや給食ボランティア活動者の研修会や連絡会の開催 (過年度から継続)



今後、町内全地区へのサロン活動等の交流活動の場の設置を進めるとともに、住民参画での移動支援や付き添い活動の具体化、多様な団体や機関と協働で生活困窮者等の福祉課題への支援の輪づくりを進めます。

ご厚志ありがとうございました

(平成30年9月1日から平成30年11月30日までにお寄せいただいたご寄附)

香典返し寄附

久々原 溝手 英夫 様 (故 溝手 昇司 様)

前 潟 峰山 俊治 様 (故 峰山多加子 様)

久々原 福島 淳子 様 (故 寺山喜久枝 様)

※匿名希望で一般寄附が1件ありました。

ふくしま活動フォトギャラリー



福祉活動員グラウンドゴルフ交流会

同じ地域の高齢者等の支援に向き合う福祉活動員さん同士や民生児童委員さん、介護支援専門員との連携強化を目的に毎年開催。今年度は35名が参加され、プレー中も名前呼び合い、表彰式では恒例のバケツの景品を分け合うなど、より関係性を深められました。(H30.10.12/矢尾グラウンドゴルフ場)



塩津ふれあいサロン

この日は本会職員による『車イス体験学習』を実施。車イスの種類や制度説明後、屋外で介助側と介助される側の体験。地区内の狭い道路を巡りながら、道路の傾斜や凹凸の衝撃、介護を受ける目線や感覚に、車イス利用者への配慮の重要性に気づきを得られた様子でした。(H30.11.17/塩津公民館)



生活に役立つ!「おそうじ教室」

毎年、年末大掃除おたすけサービスの一環として開催。ハウスタスタや汚れ、状態に応じた洗剤の使い方等について学びました。また、窓ガラスやガスレンジの清掃の実演や質問等を行い掃除の技術やポイントを学び、今後の活動に備えることができました。(H30.11.20/地域福祉センター)



やさしい心をつなぐ作品展

障がいのある方の創作意欲の助長や社会参加の促進と来場者の方が個性ある作品の鑑賞を通じて障がいへの認識を深めていただくことを目的に開催。今年度は33名計44点の心の込められた作品が寄せられ、来場者はその作品の数々に足を止め、鑑賞されていました。(H30.11.28~12.17/オアシス早島)



わが町の暮らしの応援団活動

この日は、民生委員さん経由で要望のあった高齢者世帯の玄関の電球の取り替えを実施。高齢者にとって高所作業は危険であり、照明器具も複雑な種類もありますが、電気の専門家の応援団員さんのお力で作業は数分で終了。応援団は小さな困ったに応える活動です。(H30.11.29/町内)



年末大掃除おたすけ活動

今年も75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯を対象に34件の申込みがあり、民生委員や福祉活動員、ボランティア等44名の協力を得て本活動を実施。大掃除のお手伝いを通じて利用者の負担軽減や、活動者とのつながりを深めることができました。(H30.12.3~14/町内)